

第3回海外留学報告

2025年7月14日

スタンフォード大学 生物学専攻 博士課程

島澤 理

大学院に入学して、2年目も終わりつつあるので、この間にあった出来事を振り返りたいと思います。

1年目の夏の終わりには、生物学専攻のリトリートがサンタクルーズであり、それに参加しました。生物学といっても幅広いので、同級生や上級生がどのような研究をしているのかを知ることができ、大変参考になりました。今年も実施されるので、今年はずぜひ、これまでの研究を自分でも発表したいです。



写真1：サンタクルーズのボードウォークというところの砂浜。近くに遊園地があります。

2年目の秋には進級試験がありました。文献を読んで研究計画を立てて、その背景と内容を、指導教員を含む複数の教員の前で発表して質疑応答をするといった内容で、その過程で研究対象に対して詳しくなり、さらにフィードバックももらったので、とても勉強になりました。

年末には、Bay Area RNA club meeting という近所の大学と合同である小規模の学会に参加しました。開催地はUCSF（カリフォルニア大学サンフランシスコ校）で、他の大学の方々と交流できてとても良い経験になりました。毎年開催されているので今年もぜひ参加したいです。



写真2：年末のサンフランシスコのようす（左）とUCSFキャンパス内の研究所（右）

冬には学部生に対して卒業論文の書き方についての授業のティーチングアシスタント（TA、宿題の採点など講師の補助をする）を経験しました。生物学の中の様々な分野の学生の書く論文を読んで指導することで、こちらも勉強になりました。

他には、学内での共同研究がしやすい環境だと最近特に感じています。学内でも多数の小分野のセミナーが、大学院生、ポスドク主導で開かれており、その議論から共同研究に発展することもしばしばあります。

今後の予定は、学内であったり、バイエリアで開催される学会でこれまでの研究を発表し、フィードバックを得るとともに、他の研究者との交流も深めたいと思っています。